



重責を担う経営人材の育成を
キャリアと両立させるプログラム

EXECUTIVE MIBA 2016

慶應義塾大学
大学院経営管理研究科
LEARN TO LEAD



EMBA Prog

本プログラムの 特徴

KBSが誇るケースメソッドの学びと
国内外のフィールドでの実践する体験で
多業種の優秀な人材が互いに切磋琢磨

職責を果しながら学び、
学びながら使命感を深める

- 土曜日中心のカリキュラム
- 学んだことを仕事の場で醸成できる

異業種・異職種・異文化
の中でお互いを鍛える

- 中核人材が集う場で相互に学び合う
- 視点を多様化・多角化する

ケースメソッド・フィールド・
ビジョナリー：理論と実務の融合

経営学修士(MBA)を取得する
学位プログラム

- 学位:修士(経営学)/Master of Business Administration
- 50単位取得が修了要件というタフなプログラム

r a m



理念・狙い

1. 経営の知識と視点を体系化する
2. マインドセット(使命感)を磨く



徹底的に討論し、考え抜く

3. 国際感覚と世界的な視野を滋養する
4. 長期的な視点から経営を俯瞰する



地球視点で長期的に
経営を最適化する



経営的視点と実践を重視した充実の2年カリキュラム

1年目 にやること 経営の中核を担う人材に求められる経営のコア能力の修得

1学期

経営のコア能力の確認と強化

- ・ビジョナリー科目導入合宿
- ・コア科目
- ・経営者討論科目

2学期

経営のコア能力の強化とグローバル体験

- ・コア科目
- ・経営者討論科目
- ・グローバル経営科目

3学期

経営のコア能力の応用

- ・コア科目
- ・ビジネス・ゲーム
- ・フィールド科目オリエンテーション

2年目 にやること 実践による能力の開発と提言などによる発信力の強化

1学期

フィールドでの実践的訓練

- ・専門科目群から選択
- ・フィールド科目
研究～調査～提言

2学期

個別テーマの仕上げと対外発信

- ・専門科目群から選択
- ・ビジョナリー科目
- ・個人研究科目

3学期

能力開発の総仕上げ

- ・個人研究発表
- ・ビジョナリー科目

体得できる7つの力

コア科目

経営の根幹を理解し実践する上で必須のコア能力を修得する力

経営者討論科目

経営者の能力と魅力の原点を突き詰めて、自身のリーダーシップと経営哲学を確立する力

フィールド科目 (国内・国外)

現実の市場で新たな機会を発見し、経営現場の課題をトップの視点で解決する力

専門科目

汎用性を持つ専門的知識の修得とそれを活用する力

グローバル経営科目

グローバルに存在する多様な物の見方や思考パターンを理解する力

個人研究科目

自己の問題意識に基づいて課題を発見し解決する力

ビジョナリー科目

対外的に説得性を持って、自身のビジョンを発信する力

コア科目



- ケースメソッドの実践的授業を中心に、総合的経営管理能力の基本となる主要8領域を徹底的に学びます。
- これまでの実務で携わってきた領域も含め全ての分野に対して、経営に必要な基礎知識や経営のコア能力を鍛え直します。

会計管理	経営の計数管理に不可欠な会計情報について、簿記や財務諸表等の基礎知識および財務比率や管理会計手法などの分析能力を身につけます。
経営科学	情報と論理的思考を駆使して経営課題の解決や意思決定の質を高める定量分析の具体的な方法論、および合理的な意思決定手法について学びます。
組織マネジメント	経営者として組織をいかにマネジメントするか、「組織における人間行動(ミクロ組織行動)」と「経営における組織と戦略(マクロ組織行動)」の2つの視点から学びます。
マーケティング	顧客が真に求める製品やサービスを創造し、届け、その価値を表現し、そして伝達する、効果的マーケティング手法を学びます。
経済・社会・企業	人・組織をとりまく外部要因に対する理解を深め、外部環境変化に対する企業・組織経営のあり方についての判断能力を養成します。
財務管理	ファイナンスと経営財務の基礎、企業価値評価手法、資本コスト算定、経営戦略の手段としての財務戦略やM&A、企業再生等について学習します。
生産政策	企業活動において製品やサービスを提供する「生産・供給機能」とそのためのオペレーションに焦点を当て、課題を発見・分析・改善する視点を養います。
総合経営	企業の経営政策・戦略上の諸課題について、トップ・マネジメントの視点に立って戦略立案並びに実行を指揮するための方法論を学びます。

国内フィールド



- 経営の原理原則に基づくだけでなく、現実の経営現象とその要因を自ら分析し、合理的な意思決定を下す訓練を実施します。
- 方法としては、国内外の企業の経営者や社員と直接交流しながら、フィールドを調査・研究し、経営者への提言を行い、経営の修羅場に肉薄します。

2016年度フィールド科目 協力企業(予定)



hakkai株式会社

精密プラスチック金型設計製作
エンジニアリングプラスチック成形加工
各種コイル巻線加工及び組立加工
自動機及び精密治工具製作
<http://www.hakkai.co.jp/corp/about/index.html>



オオサキメディカル株式会社

医療材料(医薬品、医療機器、医薬部外品、化粧品等)、
看護・介護製品及び
産科・婦人科ブランド“dacco”の製造販売
<http://www.osakimedical.co.jp>

個人研究

- 専門科目だけではカバーできない、さらに深い専門的テーマの追究を行います。自らの時代感覚と問題意識に基づき、自身あるいは所属する組織が直面する課題への解決策を分析・考案します。個々のテーマに応じ、関連領域の教員が指導にあたります。

ビジョナリー

- 2年間の学びの集大成として、その時代が抱える問題とそれへの解を提言として共同執筆し出版物として世に問います。40年後の経済社会を予測した上で、「大義ある未来」を描き、その実現のために求められる企業・組織・個人の価値観、行動原則を考察します。

ビジネス・ゲーム

- 初年度の集大成として、学んだカリキュラム内容を駆使し、多岐にわたる経営判断を下す体験をします。架空の商材をモデルとして、製品製造から販売まで一貫したビジネスをシミュレートしたゲーム(MBAビジネスゲーム)を使用し、各社が同一市場で事業業績の向上(時価総額の向上)を目指して展開する激しい競争状況で、経営判断力と決断力を涵養します。

選択必修

経営者討論

- 企業経営者、現役閣僚、芸術家など、1つの領域において頂点に位置する人物との出会いを設定し、1)事前の調査学習、2)講演と討論、3)当日レポート提出というステップを踏みながら、単なる講演拝聴に終わらない能動的な知的活動を行います。
※年間8回、基本的に金曜日夜講演、前週土曜に準備セッション

【登壇者】(2015年度登壇予定順・敬称略)

- ・ 笹沼泰助 アドバンテッジパートナーズLLP 代表パートナー
- ・ 松井忠三 株式会社良品計画 代表取締役会長
- ・ 大西 洋 三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役社長
- ・ 富山和彦 株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO
- ・ 玉塚元一 株式会社ローソン 代表取締役社長
- ・ 金田光夫 鍋屋バイテック会社 代表取締役社長
- ・ 熊谷昭彦 日本GE株式会社 代表取締役社長兼CEO
- ・ 水永政志 スター・マイカ株式会社 代表取締役会長



グローバル経営

- 国外の有力ビジネススクールから講師を招いて多様な視点とモノの考え方を学び、自らの価値観を相対化する機会を持ちます。単に国外の知識を伝授することとは一線を画し、講師との討論の中から新たな知見を見出すことを狙いとします。
2年間で計4回、金土日曜日の合宿形式です。

2015年度 第1回(7月)
HEC Paris
Dr. Nathalie Lugagne Delpont
専門分野: Global HRM



2015年度 第2回(12月)
National University of Singapore
Dr. Prem N. Shamdasani
専門分野: International Marketing



選択

専門科目



- 経営人材にはジェネラリストとしての能力と専門性の双方が求められます。その後者を強化するのが専門科目群です。厳選された専門科目は、その領域の研究者としての側面を併せ持つ教員によって担われます。各コア領域からバランスよく専門科目が設定されます。

グローバル生産経営	財務報告分析
リーダーシップ・コーチング	経営戦略と企業再生(仮称)
マーケティング論	産業経済分析
企業経営と経済動向	マネジリアル・エコノミクス
企業戦略論	企業倫理

Intercultural communication

※上記EMBAの専門科目に加え、業務上の調整が可能であることを前提に、全てのフルタイムMBAの専門科目(年間60科目以上)も履修可能です。

海外フィールド

- 海外の提携先ビジネススクールとのタイアップを活かして企画されます。参加者は綿密な事前学習の後に、通常では遭遇する機会の少ない経営環境に身を置き、そこで新規のビジネスモデルの実現可能性を実地して検証することを通じて、日本には得られない実践的知見を体得します。新興国と先進国でのフィールドワークをバランスよく配置します。



国際単位交換プログラム

- 本プログラムでは、業務上の調整が可能であることと学内選考の合格を前提として、当校の提携校(全世界で52校)へ2年次2学期に1学期間の留学ができます。こうした経験を通じ、さらに国際的な経営の知見を学ぶ機会を得られます。

●国際単位交換プログラム

提携校(一部抜粋)

アジア・オセアニア	School of Economics and Management, Tsinghua University (China) Indian Institute of Management, Bangalore (India) College of Business, KAIST (Korea Advanced Institute of Science and Technology) (Korea) Yonsei University School of Business (Korea) NUS Business School, National University of Singapore (Singapore) College of Management, National Taiwan University (Taiwan) Sasin Graduate Institute of Business Administration of Chulalongkorn University (Thailand)
欧州	Copenhagen Business School (Denmark) HEC Paris (France) ESSEC Business School (France) WHU - Otto Beisheim School of Management (Germany) IESE Business School, University of Navarra (Spain) London Business School (UK)
北米	Richard Ivey School of Business, The University of Western Ontario (Canada) The Fuqua School of Business, Duke University (USA) Kellogg School of Management, Northwestern University (USA) The University of Chicago Booth School of Business (USA) The Wharton School, University of Pennsylvania (USA)
南米	FGV São Paulo (Brazil)
中東	The Leon Recanati Business School, Tel Aviv University (Israel)
アフリカ	Wits Business School, University of the Witwatersrand (South Africa)



EMBAカリキュラム

2015年度4月入学者のケース

必修科目 選択科目(選択必修を含む)

1年次

2015年4月～2016年3月(予定)

日付	1限	2限	3限	4限	5限	6限
	09:00~10:30	10:45~12:15	13:00~14:30	14:45~16:15	16:30~18:00	18:10~19:40
4月	4日(土)	英語試験	オリエンテーション			
	10日(金)		ビジョナリー(合宿):課題・研究計画発表・2052バックキャスト・モデルケース授業			
	11日(土)	ビジョナリー(合宿):課題・研究計画発表・2052バックキャスト・モデルケース授業				
	12日(日)	ビジョナリー(合宿):課題・研究計画発表・2052バックキャスト・モデルケース授業				
	18日(土)	組織マネジメント	組織マネジメント	経営者討論(準備)		
	24日(金)					経営者討論(講演・FB)
5月	25日(土)		組織マネジメント	組織マネジメント	ビジョナリー	
	2日(土)					
	9日(土)	組織マネジメント	組織マネジメント	組織マネジメント 教員による オープンQ&A		
	16日(土)	組織マネジメント	組織マネジメント	海外フィールド(事前研究)		
	23日(土)	マーケティング	マーケティング	経営者討論(準備)		
	29日(金)					経営者討論(講演・FB)
6月	30日(土)		マーケティング	マーケティング	海外フィールド(事前研究)	
	6日(土)	マーケティング	マーケティング	マーケティング 教員による オープンQ&A		
	13日(土)	マーケティング	マーケティング	海外フィールド(事前研究)		
	20日(土)	予備日				
	27日(土)	会計管理	会計管理	海外フィールド(事前研究)		
	4日(土)	会計管理	会計管理	経営者討論(準備)		
7月	10日(金)					経営者討論(講演・FB)
	11日(土)		会計管理	会計管理	会計管理 教員による オープンQ&A	
	18日(土)	会計管理	会計管理	ビジョナリー		
	24日(金)	グローバル経営(合宿)				
	25日(土)	グローバル経営(合宿)				
	26日(日)	グローバル経営(合宿)				
8月	1日(土)	海外フィールド				
	8日(土)	海外フィールド				
	5日(土)	経営科学	経営科学	経営者討論(準備)		
9月	12日(土)	経営科学	経営科学	経営者討論(講演・FB)		
	19日(土)	経営科学	経営科学	経営科学 教員による オープンQ&A	戦略執行と行動的 リーダーシップ	
	26日(土)	生産政策	生産政策	戦略執行と行動的 リーダーシップ	戦略執行と行動的 リーダーシップ	

日付	1限	2限	3限	4限	5限	6限
	09:00~10:30	10:45~12:15	13:00~14:30	14:45~16:15	16:30~18:00	18:10~19:40
10月	3日(土)	経営科学	経営科学	経営者討論(準備)		
	9日(金)					経営者討論(講演・FB)
	10日(土)		生産政策	生産政策	ビジョナリー	
	17日(土)	予備日				
	24日(土)	生産政策	生産政策	生産政策 教員による オープンQ&A		
	31日(土)	生産政策	生産政策	戦略執行と行動的 リーダーシップ	戦略執行と行動的 リーダーシップ	
11月	7日(土)	財務管理	財務管理	経営者討論(準備)		
	13日(金)					経営者討論(講演・FB)
	14日(土)		財務管理	財務管理		
	21日(土)	財務管理	財務管理	財務管理 教員による オープンQ&A	戦略執行と行動的 リーダーシップ	
	28日(土)	財務管理	財務管理	海外フィールド		
	5日(土)	経済・社会・企業	経済・社会・企業	経営者討論(準備)		
12月	11日(金)					経営者討論(講演・FB)
	12日(土)		経済・社会・企業	経済・社会・企業	戦略執行と行動的 リーダーシップ	
	18日(金)	グローバル経営(合宿)				
	19日(土)	グローバル経営(合宿)				
	20日(日)	グローバル経営(合宿)				
	9日(土)	経済・社会・企業	経済・社会・企業	経済・社会・企業 教員による オープンQ&A		
1月	16日(土)	経済・社会・企業	経済・社会・企業	海外フィールド(事前研究)		
	23日(土)	総合経営	総合経営	経営者討論(準備)		
	30日(土)	予備日				
	5日(金)					経営者討論(講演・FB)
	6日(土)		総合経営	総合経営	ビジョナリー	
	13日(土)	総合経営	総合経営	総合経営 教員による オープンQ&A		
2月	20日(土)	総合経営	総合経営	海外フィールド(事前研究)		
	27日(土)	フィールド	個人研究	海外フィールド(事前研究)		
	5日(土)	ビジネスゲーム				
	12日(土)	ビジネスゲーム				
	19日(土)	海外フィールド				
	26日(土)	海外フィールド				

※「経営者討論」科目は基本的に金曜日夜、三田キャンパスで実施します。
 ※その他の授業は日吉キャンパス協生館で実施します。
 ※ビジョナリー科目・グローバル経営科目は合宿形式があります。

2年次

2016年4月~2017年3月(予定)

日付	1限	2限	3限	4限	5限	6限
	09:00~10:30	10:45~12:15	13:00~14:30	14:45~16:15	16:30~18:00	18:10~19:40
4月	2日(土) 予備日					
	9日(土) 専門科目				フィールド研究	
	16日(土) フィールド研究		フィールド研究		経営者討論(準備)	
	22日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	23日(土) 専門科目				ビジョナリー	
5月	7日(土) フィールド研究				ビジョナリー	
	12日(木) フィールド研究					
	13日(金) フィールド研究					
	14日(土) 予備日					
	21日(土) 専門科目				経営者討論(準備)	
6月	27日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	28日(土) フィールド研究					
	4日(土) 専門科目				フィールド研究	
	9日(木) フィールド研究				フィールド研究	
	10日(金) フィールド研究					
7月	18日(土) フィールド研究				ビジョナリー	
	25日(土) フィールド研究				経営者討論(準備)	
	1日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	2日(土) 個人研究					
	8日(金) フィールド研究					
8月	9日(土) 予備日					
	15日(金) フィールド研究					
	16日(土) フィールド研究					
	22日(金) グローバル経営(合宿)					
	23日(土) グローバル経営(合宿)					
24日(日) グローバル経営(合宿)						

日付	1限	2限	3限	4限	5限	6限
	09:00~10:30	10:45~12:15	13:00~14:30	14:45~16:15	16:30~18:00	18:10~19:40
9月	3日(土) 専門科目				経営者討論(準備)	
	9日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	10日(土) 個人研究					ビジョナリー
	17日(土) 専門科目				ビジョナリー	
	24日(土) 専門科目				ビジョナリー	
10月	1日(土) 専門科目				経営者討論(準備)	
	7日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	8日(土) 個人研究					ビジョナリー
	15日(土) 予備日					
	22日(土) 専門科目				ビジョナリー	
11月	29日(土) 個人研究		個人研究		ビジョナリー	
	5日(土) 専門科目				経営者討論(準備)	
	11日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	12日(土) 個人研究					
	19日(土) 専門科目				ビジョナリー	
12月	26日(土) 個人研究				ビジョナリー	
	3日(土) 専門科目				経営者討論(準備)	
	9日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	10日(土) 個人研究					
	16日(金) グローバル経営(合宿)					
1月	17日(土) グローバル経営(合宿)					
	18日(日) グローバル経営(合宿)					
	7日(土) 個人研究					
	14日(土) 個人研究					
	21日(土) 個人研究				経営者討論(準備)	
2月	28日(土) 予備日					
	3日(金) 経営者討論(講演・FB)					
	4日(土) 個人研究					
	11日(土) ビジョナリー				出版編集作業	
	18日(土) ビジョナリー				出版編集作業	
3月	25日(土) 出版編集作業					
	4日(土) 出版編集作業					
	11日(土) 予備日					
	18日(土) 予備日					
	25日(土) 研究科 学位授与式					



学生からのメッセージ



江田 徐紅さん
恵和株式会社

KBSの授業を通じ、私自身の未経験分野・業種の新たな知見を得ることができ、改めて再認識し理解を深めることができた実感しています。さらに早速業務の中で実践することもでき、「理論と実践を繋げる」有意義なプログラムだと思います。平日の終業後に週末の授業への予習を行うことは大変ですが、先生や同期とのディスカッションは教わることが多く、本当に有意義な時間を過ごしています。私には将来「顧客満足・社員満足・社会貢献のできる会社の経営者になる」という目標があります。そのためにも、この貴重な2年間で自分自身を更に成長させたいと思います。



高田 雄介さん
中外製薬株式会社

EMBA1期の同期生は、大学キャンパスを歩くと教職員か保護者の年代ですが、ひとたび授業が始まれば、ユニークな個性と多彩なビジネス経験に加えて、(大学生に負けない?)バイタリティに溢れ、毎回の経営学討議は尽きることがありません。現在、私は医薬品のマーケティングリーダーを務めていますが、ケース討議や企業経営者討論は、まさに今直面している課題を反映しており、学んだことを現場で活用しています。KBSの熱い講師陣、きめ細かい支援体制、快適な学習環境の中で、広い視野と高い視座を獲得するつもりです。

●派遣参加企業(一部抜粋)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| アールジーイー・リインシュアランス・カンパニー | 中外製薬株式会社 |
| エアバス・ジャパン株式会社 | トミタテクノロジー株式会社 |
| 岡三証券株式会社 | 株式会社ニコン |
| 株式会社大林組 | 日光ケミカルズ株式会社 |
| キューアンドイー株式会社 | 日清食品ホールディングス株式会社 |
| 恵和株式会社 | 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ |
| サッポロビール株式会社 | 株式会社肥後銀行 |
| 株式会社島津製作所 | 株式会社ベネッセホールディングス |
| スタンレー電気株式会社 | 三木プーリ株式会社 |
| 大正製薬株式会社 | 株式会社桃谷順天館 |
| 株式会社大丸松坂屋百貨店 | 横河電機株式会社 |





エグゼクティブセミナールーム



宿泊施設



協生館図書室

協生館

慶應義塾創立150年記念事業の基本コンセプト「『独立』と『協生』」の2つの焦点を持つ開かれた学塾のうち、「協生」＝「協力して生きる力」を育む場として、2008年8月に完成しました。

KBSの他に「システムデザイン・マネジメント研究科」「メディアデザイン研究科」の2研究科、イベントホール、レストランやフィットネスクラブなど、学内外の多様な人々を対象とした施設があります。

また、横浜市が全国の自治体に先駆けて実施した、環境に優しい建物を認証する制度(CASBEE横浜認証制度)の第1号として、最高位「S」ランクの認証を受けています。

エグゼクティブセミナールーム

ケースメソッド授業のクラスディスカッションに最適な階段型教室のエグゼクティブセミナールーム。自然光が入る大きな窓と、スペースを贅沢に使った教室レイアウトであり、開放的かつ落ち着いた環境で授業に集中できます。

人数は50名まで収容可能。授業施設が充実しており、国際テレビ会議等も行われています。

同5階フロアにはディスカッションルームも5つあり、グループ討議等に利用されます。

宿泊施設

7階には宿泊施設があります。

客室には冷蔵庫、収納スペースがあり、シャワー・トイレ完備です。共同のランドリー、キッチン、ラウンジのスペースもあります。

協生館図書室

4階にある図書室では、KBSの研究分野にかかわる生産管理、マーケティング、金融、財務等の経営関連専門書など、約7万冊の図書・雑誌資料を所蔵しています。

有価証券報告書データやBloombergなど企業研究に特化したデータベースを始めとし、国内・国外の新聞記事、雑誌記事、学位論文、統計等のオンライン・データベースや電子ジャーナルも利用できます。

※塾内6キャンパス(三田、日吉、湘南藤沢、矢上、信濃町、芝共立)のメディアセンターも利用可能です。





浅川 和宏

教授/多国籍企業経営、組織理論、グローバル・イノベーション論



姉川 知史

教授/企業経済学、応用ミクロ経済学、国際経営、医療経済学



磯辺 剛彦

教授/経営戦略、グローバルマネジメント



市来 崙治

専任講師/生産政策、インダストリアル・エンジニアリング



岡田 正大

教授/経営戦略論



小幡 績

准教授/企業金融、行動ファイナンス、NPO、政治経済学



河野 宏和

教授/経営管理研究科委員長/生産政策、生産マネジメント、生産管理論、経済性工学



小林 喜一郎

教授/経営戦略論、組織戦略論



高橋 大志

教授/企業財務、ファイナンス、アセットプライシング



中村 洋

教授/経済学、産業組織論(ライフサイエンス、ヘルスケア、IT)、経営戦略論



林 高樹

教授/計量ファイナンス・金融工学、応用確率論



林 洋一郎

准教授/産業・組織心理学、組織行動、社会心理学





井上 哲浩

教授/マーケティング・マネジメント、
マーケティング・サイエンス、マーケティ
ング・コミュニケーション・マネジメント



太田 康広

教授/分析的会計研究



大林 厚臣

教授/経済学、産業組織論、
リスク・マネジメント



大藪 毅

専任講師/人的資源管理論、
労働経済学、医療管理学



齋藤 卓爾

准教授/コーポレート・ファイナ
ンス、コーポレート・ガバナ
ンス、企業経済学



坂下 玄哲

准教授/ブランド・マネジメン
ト、消費者行動



坂爪 裕

教授/生産政策、生産マネジ
メント



清水 勝彦

教授/組織マネジメント、企業
変革、M&A、戦略実行・変更



村上 裕太郎

准教授/分析的会計研究、税
務会計



山本 晶

准教授/インターネット・マーケ
ティング、マーケティング・マネ
ジメント、消費者行動



余田 拓郎

教授/マーケティング戦略、
ビジネス・マーケティング、事業
戦略



渡辺 直登

教授/組織心理学、心理測定
論



岩本 隆

特任教授/新事業・新産業創
出、技術経営、アントレプレ
ナーシップ、HRマネジメント



シヤンカー サヴェータ

特任准教授/マイクロファイ
ナンス、マイクロペンション(年
金)の開発とそれに関する政
策・規制



住田 潮

特任教授/ITとインターネット・移動
型通信システム・e-マーケティング・
CSR、生産・物流・ヴァリューチェ
ン、業診断システムの開発・チーム
特性分析、国際経営比較・国際経
営における組織管理、起業論、金
融工学、社会システムの確率解
析、応用確率論、確率過程論



竹内 伸一

特任准教授/ケースメソッド教
育、能動的学修(アクティブ・
ラーニング)、教学マネジメン
ト、ビジネススクール史、組織
行動学

慶應ビジネス・スクール(KBS)のご案内

KBS Mission Statement

KBSは新たな構想を作り実現するリーダーを育成する。そのために、多様な学生がともに学ぶ喜びを知り、世界一線級の研究を発信し、実務経験と体系的知識を融合する場を提供する。

KBSとは

1962年に創立された、日本で最も歴史のあるビジネススクールです。

MBAやPh.D.といった学位を授与するプログラムを提供する【慶應義塾大学大学院経営管理研究科】と、様々な短期間のエグゼクティブセミナーを提供する【慶應義塾大学ビジネス・スクール】があり、両者を包括して、創立時からの名称である「KBS」と呼んでいます。

慶應義塾大学大学院経営管理研究科(修士課程・後期博士課程) ※修了生 約3,500名

フルタイムMBA 慶應型ケースメソッドやゼミでの圧倒的な学習量、質の高いディスカッションでリーダーの資質を磨く、若い世代を対象とするプログラム

エグゼクティブMBA 世界視点で経営を最適化する人材を送り出す、次世代経営の担い手となる中核ミドル人材向けのプログラム

後期博士課程 経営理論研究の第一線で活躍し、最新の学術理論を実務と教育に応用する研究教育のリーダーを養成するプログラム

慶應義塾大学ビジネス・スクール(大学院経営管理研究科附属) ※受講生 約18,000名(2,000法人)

エグゼクティブセミナー 組織のマネジメント能力と戦略的実行力を慶應型ケースメソッドと異業種交流によって分野横断的に体得する、実務家のための実践的人材育成プログラム

ISSUEセミナー 経営の最先端理論を分野別に深く学び、イノベティブな構想力と機能設計能力を養成する専門能力養成型プログラム

KBSの特徴

1. 実践的な教育方法「ケースメソッド」を採用

受身の姿勢で知識を身につけるのではなく、自らの考えを積極的に説明し討論する双方向型の授業方法を経験することで、実践的な経営能力を身につける。

2. 経営や自社の課題について学び考えることに集中するカリキュラム

討論のための準備～討論～振り返りや体系化のため、「朝から夜まで学び考えること」に集中して取り組む。

3. 最先端の研究の積み重ねによって普遍化した経営理論やスキルを伝授する一流の教師陣

4. 世界基準の教育品質保証と国際ネットワーク

KBSは、常に目標を世界のトップクラスに掲げ、高度な教育の質を確保してきました。

教育品質の保証のため、日本で唯一、2大国際認証機関(AACSB International、EQUIS)によるグローバル基準での客観的評価による認証を継続して得ています。また世界規模の研究と教育に関する交流を推進するため、国際的なビジネススクールのネットワークに加盟し、共同研究・教員交流・学生の交換留学を積極的に行っています。

なお、仏SMBG社が毎年発表している、世界のビジネススクールを評価する「Eduniversal Worldwide Business Schools Ranking」にて、KBSは日本部門第1位にランクインされ、かつ世界のビジネススクールの中でも最高ランクを獲得し続けています。



AACSB International
Association to Advance
Collegiate Schools of Business
認証校 全世界639校、
アジア32校、日本2校



EFMD
European Foundation
for Management Development
認証校 全世界131校、
アジア20校、日本1校



AAPBS
Association of Asia-Pacific
Business Schools
アジア太平洋地域130校の
ビジネススクールによる
研究・教育水準向上を
推進する協議会



PIM
Partnership in International
Management
世界60校の
ビジネススクールが加盟する
研究・留学ネットワーク

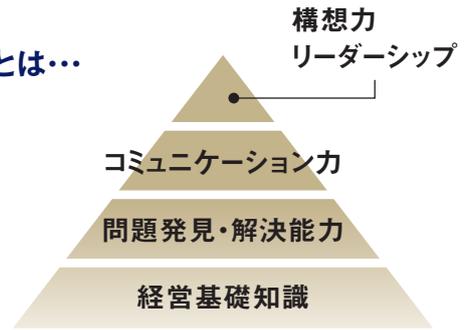


**Eduniversal Worldwide
Business Schools Ranking**
仏SMBG社による
世界ビジネススクール
ランキング

KBSが目指す経営人材育成

これからのビジネスリーダーに求められる多面的な経営能力とは…

1. 経営各領域の基礎知識
2. 事実に潜む課題を発見し、解決策を提示する能力
3. 多様な人材と議論し意見を引き出すコミュニケーション力
4. 広い視野でビジネスを構想し、人々を先導していくリーダーシップ



慶應型ケースメソッド

ケースメソッド授業とは

学生や受講者が、ケース※を事前に読み込んだ上、各人の分析結果あるいは意思決定の内容やその理由を教員のリードの下で発表し、議論する授業形式。

※ケース: 実際の企業や組織が直面した経営課題を記述した教材

ケースメソッド授業の流れ

事前個人研究



各自がケースの当事者の立場に立ってケースを分析・検討し、具体的な提案を準備する

グループ・ディスカッション



事前個人研究の成果を参加者が持ち寄り、少人数のグループで議論のウォームアップを行い、各自の問題意識を発展させる

クラス・ディスカッション



教員のリードにより、多数の参加者の意見を通して、参加者全員がディスカッションを重ねる

慶應型ケースメソッドの特徴

1. 日本の経済社会風土に根ざした人材育成

- 50年の歴史に育まれた、日本企業に適したケースメソッドを採用
- 他者の考えを尊重し、経営に貢献する視点を全員で創出
- クラスの協創協働水準を高め、「学びの共同体」を通じ教育効果を高める

2. 強力なケース開発

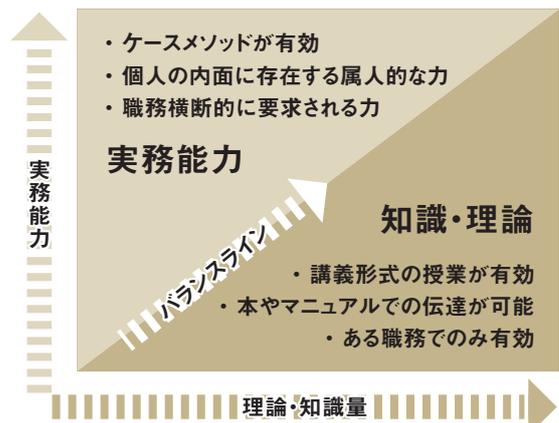
- 独自に年間100本の新作ケースを開発、常に新鮮な課題を提供
- さまざまな業界の日本企業に関するケースで、学習可能
- 海外のビジネススクール作成ケース翻訳版も充実

3. 研究者である教員による授業

- MBA、Ph.D. を指導する教員が、最前線の研究成果を授業に反映
- 研究機能を持つ大学ならではの、学術的裏づけのある内容
- 企業との強いネットワークを持つ教員の知見をケースに反映

ケースメソッドでの学び

- 一般的な知識や理論の一方的講義からは得られない、**実践的な経営意思決定を行う実務能力**
- **分野横断的に知識を体系化する能力**
- 実務と理論を融合することによって生まれる**強力なリーダーシップと経営に対する使命感**



入学試験概要

2016年4月入学 修士課程 Executive MBA プログラム入試概要

本プログラムは、原則として土曜日と短期合宿の組み合わせです(ただし参加者の選択によっては、平日夜間の専門科目を履修することも可)。取得できる学位は、修士(経営学)/Master of Business Administrationです。

■**募集人員** 40名(予定)

■**出願資格** 大学を卒業し、職務経歴が通算15年以上の者
大学院の課程を修了した者は、大学院在籍年数を加えて通算15年以上の職務経歴を有する者

■入学試験の種類

出願方式A: 所属する企業・団体等の推薦による出願

東京証券取引所一部上場企業およびこれに準ずる企業・団体から派遣される者

本研究科が指定した企業・団体から派遣される者

※派遣元の条件等については、kbs-admission@adst.keio.ac.jpへお問い合わせください。

※本プログラムに在学することについて所属する企業・団体等の了解を得たうえで、派遣責任者もしくはこれに準ずる者が作成した推薦書(公印付き)を提出する必要があります。

●書類審査、面接試験

出願方式B: 個人の資格による出願

●一次試験: 書類審査

●二次試験: 筆記試験(小論文)、面接試験

■出願時期および選考日程等

【出願方式A】

	第1回	第2回
出願期間	2015年11月9日(月)~11月30日(月)	2015年12月1日(火)~12月22日(火)
試験	2015年12月11日(金)	2016年1月8日(金)
合格発表	2015年12月16日(水)	2016年1月13日(水)
入学手続期間	2015年12月16日(水)~2016年1月6日(水)	2016年1月13日(水)~1月29日(金)

【出願方式B】

出願期間	2015年12月24日(木)~2016年1月18日(月)
第一次試験合格発表	2016年1月27日(水)
第二次試験	2016年1月31日(日)
第二次試験合格発表	2016年2月3日(水)
入学手続期間	2016年2月3日(水)~2月15日(月)

■**入学試験要項・出願書類** URL: <http://www.kbs.keio.ac.jp/graduate/emba/application.html>

■**入学検定料** 35,000円

■**初年度納付金** 3,517,600円 (入学金 200,000円 施設設備費 150,000円)
(在籍基本料 60,000円 経営管理学会費 5,000円)
(授業料 3,100,000円 学生健康保険互助組合費 2,600円)

お問い合わせ

慶應義塾大学日吉学生部 経営管理研究科担当

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

TEL : 045-564-2441

E-mail : gakukbs@info.keio.ac.jp

〈窓口対応時間〉 平日 8時45分~16時45分

・土曜日・日曜日・祝日・義塾が定めた休日および事務室の休業期間中は閉室となります。

・8月10日~8月14日および12月28日~1月5日の期間については閉室となります。